

はじめに ワイドマルチAVステーションでできること

- 1 現在地の表示 自転車の位置を地図に表示します。
- 2 目的地への案内 設定した目的地付近までのルートを案内します。
- 3 オーディオの操作 ラジオ・カセット・CDの操作が行えます。
- 4 テレビの操作 停車中にテレビをご覧になれます。

1



3



2



4



1~4のどのモードからでも、他の希望のモードへの切り替えが可能です。
(モード切り替えの順序は決まっていません。)

■主な機能一覧表

	モード	主な機能
1	GPSボイス ナビゲーション	● 現在地表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・メモリ地点）の設定 ● ルートの登録
2		
3	オーディオ	● AM・FMラジオの受信 ● FM多重放送の受信 ● カセットデッキの操作 ● CDプレーヤーの操作
4	テレビ	● テレビ放送の受信（ワイド画面放送対応）

※ 販売店装着オプションのマルチCDチェンジャーなどを接続して操作することもできます。
詳しくはトヨタ販売店でお試しください。

作動条件

ワイドマルチAVステーションの機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置など）により操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます

×：操作できません

エンジンスイッチ	LOCK	ACC	ON 停車中	ON 走行中
GPS ボイスナビゲーション	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
オーディオ (FM多重放送を除く)	×	○	○	○
FM多重放送 (FM多重文字情報)	×	○	○	走行中はご使用になれません。
テレビ	×	○	○ 映像はパーキングブレーキがかかっている場合のみ	走行中は安全上の配慮などから、音声だけになります。

⚠ 注意

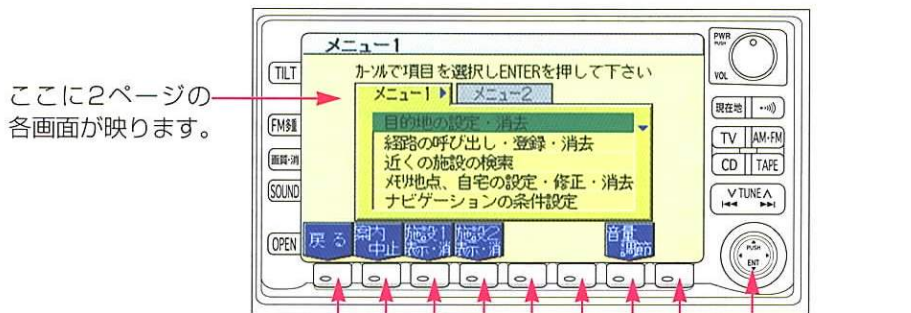
- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートが表示されることがあります。

📖 知識

走行中、操作できないスイッチは、走行状態になると色が薄くなるものもあります。走行状態では、そのスイッチを押しても作動しません。このとき画面に操作禁止メッセージが表示されます。

操作パネル

- GPSボイスナビゲーション画面では、ファンクションスイッチは「ピッ」という応答音が鳴るまで押してください。
- 1つ前の画面にもどりたいときは、**戻る**を押します。



ENTERキー (E)

画面上の項目を選択するとき、または地図を移動するとき、左右上下に動かします。また、項目を決定するときは、押します。

ファンクションスイッチ

これらのスイッチは画面が変わることによりスイッチ名称とその働きが変わります。

〈例〉

右図のスイッチは**メニュー**です。

メニュー

ENTER

スイッチ名称

該当スイッチ

〈本書でのスイッチ表示〉

- ワイドマルチAVステーション本体のスイッチを押すときは、**現在地** (**現在地** · **画質** · **消** など) でスイッチ名称を表示しています。
- ファンクションスイッチを押すときは、**メニュー** でスイッチ名称を表示しています。
- ENTERキーを使用するときは、**[E]**を~します という表現をしています。
- 画面に **[カーソルで~を選択し~]** が表示されたときは、ENTERキーを上下左右に動かして選択します。



アドバイス

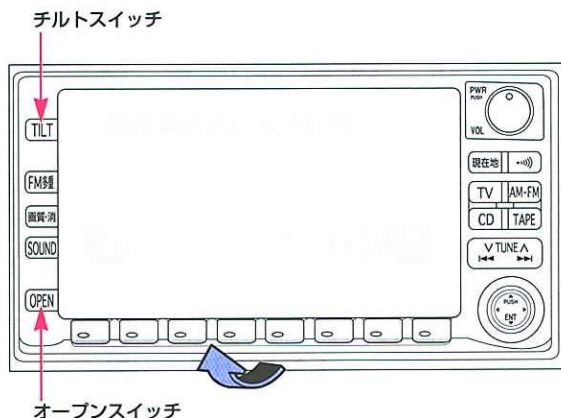
画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。

手で強く押しついたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

ディスプレイの角度調整

車外からの光で画面が見にくいときなどに、画面を3段階に角度調整する（チルトする）ことができます。

TILT を押すごとに、10° ずつ30° まで傾きます。



⚠ 注意

ディスプレイの角度調整をするときは手などはさまないよう注意してください。手などはさんでけがをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。

🎓 知識

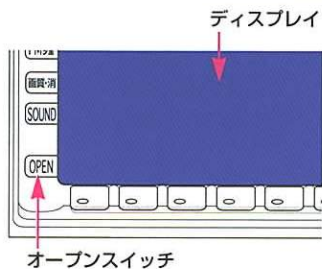
- 最も傾いた状態（30° 傾いた状態）で **TILT** を押すと、傾いていない状態にもどります。
- チルトしたままの状態でも、**OPEN** を押すと、ディスプレイ部が開きます。
- **OPEN** を押して、ディスプレイを開閉したときは、**OPEN** を押したときのチルト状態にもどります。

地図CD-ROM・音楽用CD・テープの出し入れ

音楽用CD・テープの出し入れ

次の要領で音楽用CD・テープの出し入れが行えます。

音楽用CDは、下のマークのついたCDのみ使用できます。
(CD-RやCD-ROMなどは使用できません。)

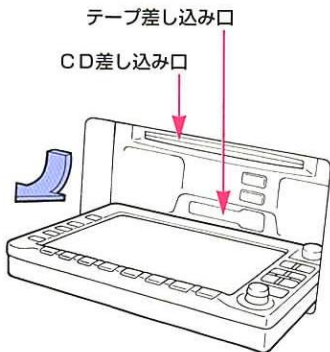


■差し込むには

- 1 **OPEN** を押して、ディスプレイ部を開けます。

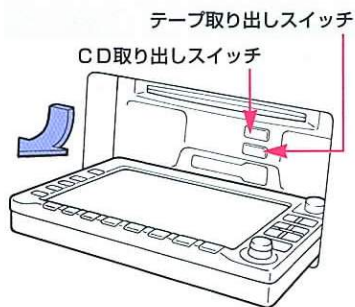
⚠ 注意

ディスプレイの開閉をするときは手などを
はさまないように注意してください。手など
をはさんでけがをしたり、ディスプレイの
故障の原因になります。



- 2 差し込み口にテープ、またはCDを奥まで差し込みます。
● CDは、ラベル面を上にして差し込みます。

- 3 差し込み口の奥まで挿入されたことを確認してから、**OPEN** を押して、ディスプレイ部を閉めます。



■取り出すには

- 1 **OPEN** を押して、ディスプレイ部を開けます。
- 2 テープ取り出しスイッチ、またはCD取り出しスイッチを押して、テープ、またはCDを取り出します。
- 3 テープ、またはCDを差し込み口から取り出したあと、**OPEN** を押して、ディスプレイ部を閉めます。

⚠ 注意

ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをすることがあります。



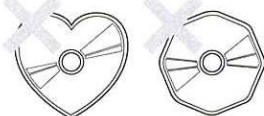
アドバイス

- ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるカセットテープを使用しないでください。回転不良やカセットテープを取り出せなくなるおそれがあります。
- カセットテープは90分以下のものをご使用ください。90分を超える長時間用テープは、テープの厚さが非常に薄いため、カセットデッキに巻き込むおそれがあります。
- カセットテープは、直射日光を避けて保管してください。テープがひずみ、使用できなくなるおそれがあります。
- カセットデッキにオイルをぬったり、金属や磁気をテープ挿入口にいれたりしないでください。カセットデッキの故障の原因になります。
- 8cm音楽用CDを挿入するときはアダプターを使用せずに、そのままCDを挿入してください。アダプターを使用するとCDを取り出せなくなるおそれがあります。

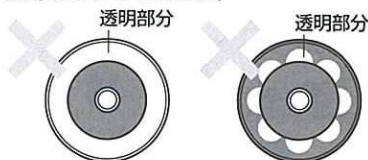


アドバイス

- CDは直射日光を避けて保管してください。CDがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- CDを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ハート型や八角形など特殊形状のCDは再生できません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



- 記憶部分に透明、または半透明部分があるCDは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。



- レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
- CDのよごれは、プラスチック用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押ししたり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、CDが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- CD挿入口には音楽用CD以外の物を挿入しないでください。故障の原因になります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因になります。
- テープ・CD取り出しスイッチを押して、テープ・CDが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、テープ・CDを傷つけるおそれがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、テープ・CDを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。



知識

デッキ内部のテープを再生するヘッド周辺部（ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー）はよごれやすいので1カ月に1回程度はクリーニングテープでクリーニングしてください。

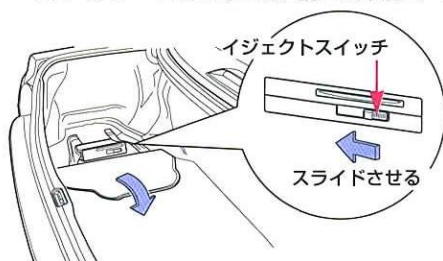
地図CD-ROMの出し入れ

次の要領でナビゲーションユニット内に収納されている地図CD-ROMの出し入れが行えます。

ナビゲーションユニットはトランク内左側のラゲージマットの下に取りつけられています。

■取り出すには

- 1 エンジンスイッチをACCの位置にします。
- 2 トランク内左側のラゲージマットを開けます。
- 3 ナビゲーションユニットのイジェクトスイッチを左いっぱいにスライドさせると、CD-ROM差し込み口が開き、地図CD-ROMが自動で排出されます。



👉 アドバイス

地図CD-ROMが完全に排出される前にイジェクトスイッチを右にスライドさせないでください。(CD-ROM差し込み口を閉めようとししないでください。)故障の原因になります。

■差し込むには

- 1 地図CD-ROMをラベル面を上にしてCD-ROM差し込み口に差し込みます。
- 2 イジェクトスイッチを右いっぱいにスライドさせ、CD-ROM差し込み口を閉めます。

👉 アドバイス

- 地図CD-ROMを扱うときは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてください。
- 地図CD-ROMは直射日光を避けて保管してください。地図CD-ROMがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 信号面(ラベルが印刷されていない側)に直接接触すると、地図CD-ROMがよごれ、エラーの原因となる場合がありますので、必ず地図CD-ROMの中心の穴と端をはさんで持つか、地図CD-ROMの両端をはさんで持ってください。
- 地図CD-ROMにボールペンやサインペンなどで文字を書いたり、紙やシールを貼りつけないでください。
- 地図CD-ROMはナビゲーションユニット内部で高速回転しますので、ヒビがはいたり、大きくそった地図CD-ROMは使用しないでください。ナビゲーションユニットの故障の原因になります。
- CD-ROM差し込み口には地図CD-ROM以外の物を差し込まないでください。故障の原因になります。
- CD-ROM差し込み口を開けたままで使用しないでください。故障の原因になります。